



## 【総括】カーミージー・海没地区、海ごみ&軽石回収活動



- 目的: 西海岸域の景観づくり、市民の身近な里浜を取戻すため、瓦礫に覆われた砂浜再生事業化の実現を目指す取組みに繋げる
- 内容: 市民協働による漂着海ごみ、軽石の回収も追加(第5・第6回、海岸漂着ごみ類のカヌー艇による運搬の実証(第3・第4回))
- 期間: R3年8月~R3年12月迄、合計6回開催、各90分の作業時間
- 区域: キャンプキンザー海没地区、カーミージー砂浜地区
- 助成: 令和3年度浦添市景観まちづくり活動支援事業
- 参加: 参加者合計 119人 (※コロナ禍で少人数に限定)
- 回収: 海ごみ(可燃・不燃) 合計重量 1,395.2kg、ごみ袋数 183袋  
軽石 合計重量 8,500kg 土嚢袋 650袋 (トン袋12袋分)
- 時間: 作業時間合計 540分 (9時間)
- 主催: 一般社団法人うらそえ里浜・未来ネットワーク 共催: 浦添市
- 協力: 那覇港管理組合(回収物の処理)、サンエーパルコ(駐車場提供)

## 市民協働の成果と持続可能な活動の課題

- 成果 (西海岸の自然環境・作業条件に順応した、活動スタイルを確認)
  - ✓ コロナ禍でのスタート、感染拡大予防対策に配慮し市民参加は制限、小規模で6回開催
  - ✓ 波浪の影響を受けない時期に、海上での効率的な運搬手段としてカヌー艇を利用
  - ✓ 10月頃から軽石漂着が確認され、第5・6回では海ごみと併せて漂着軽石の回収も実施
  - ✓ 持続可能な取組みで、市民・企業・浦添市・那覇港管理組合等による実施体制を確認
- 課題 (西海岸・里浜の保全活用の目標達成に向けたロードマップの作成が必要)
  - ✓ 海岸地区へのアプローチが未整備、回収した海ごみ類を運搬車両へ積込む作業が面倒
  - ✓ ビーチクリーンの開催を効率良く回収するために、日常的な漂着物/ワロールが必要
  - ✓ 西海岸各地区の海ごみ・軽石の漂着状況を把握し、自然環境に配慮した活動の検討
  - ✓ 海没地区、カーミージー地区とも、安全確保・継続的活動の拠点となる施設整備が急務
  - ✓ 市民・企業等の地域貢献として海浜清掃活動への参加機会が増え、維持管理する浦添市・那覇港管理組合との連携を繋ぐ中間支援団体の役割を明確に位置づける
  - ✓ 西海岸・里浜の保全・活用を具現化するための持続可能な仕組みづくり、実行体制の確立、ビーチクリーン開催をマネジメントする団体への支援、計画的な事業予算の確保



第1回8/19:海没地地区



第2回9/2:カーミージー地区



第3回10/4:海没地地区

## 漂着回収海ごみ(6回)・軽石の集計(2回)

海ごみ	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	軽石	第5回	第6回
	8/19(木)	9/2(木)	10/4(月)	11/4(木)	11/29(月)	12/11(土)		11/29(月)	12/11(土)
可燃	58.0(15)	319.8(82)	43.0(11)	50.7(13)	130.0(24)	32.0(4)	土嚢袋数	50	600
不燃	6.0(1)	75.0(15)	25.5(5)	30.0(6)	40.0(5)	10.0(2)		重量	400.0
その他	25.0	525.2	18.0	2.0	5.0	0.0	合計 軽石 重量 (ごみ袋数)	8,500 (650)	
袋数	16	97	16	19	29	6		※単位: kg(ごみ袋・土嚢袋数)	
重量	89.0	920.0	86.5	82.7	175.0	42.0			
合計	1,395.2	可燃/不燃 633.5/186.5/575.2	合計袋数 183		可燃/不燃 149/34				



第4回11/4:海没地地区



第5回11/20:カーミージー地区



第6回12/11:海没地区(軽石も回収)



第6回:回収した軽石仮置場